

みんなの想い、市政に反映—伝えてつなく、明るい社会

西宮市議会だより



発行：西宮市議会 編集：広報委員会 〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号 ☎(0798)35-3377



「奇怪な雲」 撮影：前田 正樹さん（甲子園町在住）
 昨年8月～9月に募集した作品の中から広報委員会において、上の作品が選ばれました。

6月定例会

第120号

目次

- 代表質問 2～3
- 各委員会の活動状況 3
- 一般質問 4～7
- 請願 7
- 委員会委員名簿、その他の議会役職 7
- 6月定例会 主な審議日程など 7
- 議案等審議結果一覧表 8
- 9月定例会 開催日程（予定）など 8

6月定例会の主な内容

《議会役職の選挙・選任》

議長に **岩下 彰** 議員
いわした あきら
 (市民クラブ改革)



副議長に **田中正剛** 議員
たなか まさたけ
 (政新会)



↓その他の役職は7面に掲載

《議員提出議案》
 意見書

▽手話を音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法」の制定を要望する「『手話言語法』の制定を求める意見書」を可決し、内閣総理大臣などに提出しました。

▽集団的自衛権の行使を容認する閣議決定が行われたことに対し、その撤回を求める「集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回するよう求める意見書(案)」が審議されましたが、賛成少数で否決されました。

決議

▽アサヒビール工場跡地の購入については、市立中央病院の改革、総合的な防災対策、公共施設の老朽化対策などのため、3月定例会において予算化され、議会大多數の判断であることから、同地を基本協定などに基づいて購入するよう市長に求める「アサヒビール跡地を基本協定に基づいて購入するよう市長に求める決議」を賛成多數で可決しました。

▽アサヒビール工場跡地に係る基本協定を本年9月議会閉会後まで延長すること、これができるいときは臨時議会を招集し、土地関連予算の審議を行うことを求める「アサヒビール跡地問題について基本協定が有効である間の議会審議を求める決議」を賛成多數で可決しました。

◆募集◆ 1面に掲載する写真(121号から124号分)を募集します。応募方法など詳細は8面をご覧ください。ご応募をお待ちしております。

代表質問 要旨

質問順に掲載しています

6月17日の本会議で、今村新市長が西宮市政運営の基本方針について所信を表明しました。その所信表明に対して、各会派の代表が6月23日、24日の2日間にわたり、質問を行いました。紙面の都合から、一部を要旨で掲載します。※「問」の部分は質問した議員が作成しています。

土地購入の白紙撤回 民意の反映は

(公明党) 山田ますと

問 アサヒ工場跡地について、市民に土地の優位性を示さず、白紙撤回するのは、民意を反映していると言えるのか。

答 公約に掲げて選挙を戦った結果であり民意を反映している。議会での跡地取得予算の可決も民意を反映したものであり、賛同してもらえる材料を示し、あらためて議論願いたい。

県立病院との統合 施設の移転場所は

(公明党) 山田ますと

問 県立病院との統合には600床で2.3haが必要。市長は、市の既存保有地で検討するといわれたが、アサヒ工場跡

地以外に、適地を示さず、アサヒ土地を否定するのは無責任である。市長の認識を聞きたい。

答 市の保有する土地、開発可能な用地をすべて検討し、メリット、デメリットの洗い出しをしているため、あらためて議会に報告し、議論願いたい。

市民をミスリード する表現では

(政新会) 大石 伸雄

問 「26億円の無駄遣い」と表現されるが、用地取得施設整備、各補助金を含む総額であり、国庫補助金により負担額は少なくなる。この主張は市民をミスリードしているのでは。

答 従前の計画は、工場跡地を取得したいという意思による政策推進であり、合理的理由のない公共施設の移転整備による土地取得、建設事業は無駄な公共事業と言わざるを得ない。

教育施設整備 用地確保の問題は

(政新会) 大石 伸雄

問 市立小学校1校あたりの人口は中核市42市で最下位と言われるが、単純計算すると西宮で62校が必要となる。用地確保はどのように考えているのか。

答 この分野が進まなかった理由が用地取得の問題だけだったとは認識しておらず、この課題の優先順位を高め、積極的に教育施設整備を行う方針である。

県立病院との統合 県は前向きなのか

(日本共産党) 佐藤みち子

問 「県立病院は新しい建物で資産価値が残っていること。統合は無理と言っている」と説明してきた。県は統合を前向きに検討するようになったのか。

答 市の方針を決定し、速やかに統合に向けた作業に入れるよう、統合に向けた課題の抽出や整理を行う。県に対しては統合の有効性や必要性を示し、早期実現に向け努力する。

アサヒ跡地活用 今までの違いは

(日本共産党) 佐藤みち子

問 アサヒビル跡地については、ガイドラインを策定し積極的にかかわると言うが、今までの大型開発とどう違うのか。

答 公共空間・沿道空間計画や敷地利用計画の指針などのガイドラインを策定し、第三者への売却の際も継承される基本協定の締結などにより実効性の高

いルール作りに取り組む考えで、今までのとは異なる対応である。



アサヒビール西宮工場跡地

議会を無視した 白紙撤回の説明を

(むの会) 西田いさお

問 アサヒビル工場跡地購入の白紙撤回は、なぜ議会を無視したかたちで行われたのか。詳細な説明をもとめる。

答 政策転換を公約に就任した市長としての政策推進の方向性を伝え、正式な機関決定には議会の承認が必要であることも伝えたもので、議会軽視・無視には当たらないと考えている。

中央病院の老朽化 市民への説明は

(むの会) 西田いさお

問 中央病院は老朽化、通常安全とされる耐震基準を下回っており緊急課題と思うが現状で安全確保が出来るのか、対策をとらないことを市民の皆様にごう説明するのか聞きたい。

答 将来の中央病院の在り方を決める前の設備投資は過剰な投資となる可能性がある。速やかに市の方針を決定し、将来を見据えた耐震化・老朽化対策への対応を検討したい。

地域との 信頼関係構築を

(蒼士会) 八木米太郎

問 地域との信頼関係の構築のため、市民や各種団体の声を直接聞くことについて、市長の考えを聞きたい。

答 市民に直接政策を説明し、声を聞く市政報告会を充実させたいと考えており、幅広い世代や職業の人が出席できるように平日の昼間に限定しない開催日程で検討・準備を進める。

国や県との連携 市長の役割は

(蒼士会) 八木米太郎

問 政策課題解決に向けて、国、県及び関連都市との連携について、行政のトップとして市長の果たすべき役割を聞きたい。

答 国、県や近隣市などと平素から良好な関係を築き、連携を行うことが大切であり、その上で住民の福祉の増進につながる陳情や要望、課題解決に話し

紙面中の一部の会派名は、略称で掲載しています。

政新会…政新会、公明党…公明党議員団、市民ク改革…市民クラブ改革、蒼士会…蒼士会、日本共産党…日本共産党西宮市会議員団、むの会…むの会

合いが必要な場合は、自ら出向き主張や交渉するなどトップセー
ールスを行うべきと考えている。

**県立病院との統合
県の計画との整合は**
(市民ク改革) 河崎はじめ

問 病院の県市統合について
県では、平成30年迄の県内の病
院建替計画が決定している。30
年以降の順番もある中、平成4
年築の県立西宮病院をどのよう
に市と統合するつもりか。

答 統合が最適であり医療関
係者などからも積極的に支援す
るとの意見を得ていることを県
に伝え、県の整備計画の変更も
含め、早期の実現に努力する。

**公共施設整備
建替更新の費用は**
(市民ク改革) 河崎はじめ

問 アサヒ跡地問題について
計画の白紙撤回で病院、消防署
体育館、防災公園の整備問題が
生じる。個別対応した時、当初
予算2.62億円で納まるのか。

答 各施設の建設コストは、
同じ規模と仕様であれば違いは
ないが、新体育館などの施設整
備の内容は改めて検討する。病
院は統合への課題整理に取り組
むため、現時点では示せない。

各委員会の活動状況

3月定例会閉会后から6月定例会開会前までの活動内容 (平成26年3月21日～6月12日)

総務常任委員会	所管事務調査	施策研究テーマ「防災について(消防力について)」など2件
市民文教常任委員会	所管事務調査	施策研究テーマ「特別支援学校の現状と今後のあり方について」など3件
厚生常任委員会	所管事務調査	施策研究テーマ「子ども・子育て支援新制度について」など4件
建設常任委員会	所管事務調査	施策研究テーマ「橋梁長寿命化修繕について」など2件
議会改革特別委員会	協議事項	議会活性化・透明化促進、常任委員会の在り方、議長の事実上の任期、議会基本条例 などについて

6月定例会中の活動内容 (平成26年6月13日～7月4日)

総務常任委員会	予 算	平成26年度西宮市一般会計補正予算(第1号) など予算案件3件
	条 例	西宮市消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定 など条例案件3件
	そ の 他	議案1件、請願1件、正副委員長の互選
	所管事務調査	西宮市公共施設適正配置審議会の中間報告について
市民文教常任委員会	予 算	平成26年度西宮市一般会計補正予算(第1号) など予算案件2件
	条 例	なし
	そ の 他	議案2件、請願2件、正副委員長の互選
	所管事務調査	西宮市公共施設適正配置審議会の中間報告について など3件
厚生常任委員会	予 算	平成26年度西宮市一般会計補正予算(第1号) など予算案件3件
	条 例	西宮市附属機関条例の一部を改正する条例の制定 条例案件1件
	そ の 他	議案1件、陳情1件、正副委員長の互選
	所管事務調査	留守家庭児童育成センター指定管理者の公募について など2件
建設常任委員会	予 算	なし
	条 例	なし
	そ の 他	議案8件、陳情1件、正副委員長の互選
	所管事務調査	UR借上市営住宅の住み替え斡旋と住み替え支援策について など3件
議会改革特別委員会	協議事項	正副委員長の互選
アサヒビール工場跡地問題特別委員会	協議事項	正副委員長の互選

一般質問 要旨

質問順に掲載しています

6月定例会では16人の議員が6月25、26、27、30日の4日間にわたり、質問を行いました。紙面の都合から、一部を要旨で掲載します。
※「問」の部分は、質問した議員が作成しています。

児童育成センター

高学年の受入れを

(日本共産党) 野口あけみ

問 留守家庭児童育成センターでの高学年受入れを、可能な所からモデル実施してはどうか。

答 学校施設や公共施設の活用を図り、育成センターや放課後子ども教室、校庭開放事業など放課後の居場所づくりに総合的に取り組む中で検討したい。

JR甲子園口駅北側

駅前広場の拡張を

(日本共産党) 野口あけみ

問 JR甲子園口駅北側は駅前広場が狭く、車両、歩行者等が行き交い、大変危険である。

以前の私の質問に、「広場を拡張して抜本的な機能向上を」と答弁しているが早急に土地開

発公社を活用して土地を取得し、事業化を図るべきだが、どうか。

答 土地開発公社による先行取得でも、事業目的や市の買い戻し時期の明確化、債務負担の設定などが条件となり、市としては財源確保も念頭に置き、事業化への取り組みを進めたい。



J R 甲子園口駅北側の駅前広場

防犯灯管理業務

直営化の進め方は

(市民ク改革) 中尾 孝夫

問 新市長は政策マニフェストで防犯灯管理業務の直営化を謳っているが、どう具体化を進めるのか。

答 防犯灯は自治会など地域の所有であり、市への移管手続きの問題や民有地に設置されたものの取り扱い、維持管理の方法や新設要望への対応など、具体化について関係団体や地域と協議・連携し、早期に進める。

さくらやまなみバス

事業者への対処は

(市民ク改革) 中尾 孝夫

問 新市長はさくらやまなみバス事業で赤字どころか利益が出る発言している。バス会社との折衝・対処はどうか。

答 覚書にある運行期間(28年3月末)までは、現在のバス会社に事業経費の削減努力を求めていくが、それ以降は事業収支、安全性、サービス面などの評価も踏まえた上で、次期運行事業者を総合的に判断したい。



平和事業について

(政新会) 上向井賢一

問 政策論として、事業の目的、意義を明確にして取り組むべきとの立場から、当市の平和事業について市長の考えを問う。

答 現在の平和事業は、内容目的が曖昧なものも多いと感じており、今後平和事業の全面的な見直しをする中で、戦没者の

慰霊を悼むことを大切にしていきたいと考えている。

地元問題について

夙川学院と開発行為

(政新会) 上向井賢一

問 夙川学院の売却地における開発は、市の申し入れ内容どおりの高さ制限が守られるのか。

答 25年6月に、夙川学院に現状の土地利用を変更する場合は、周辺街区との調和を図るため、建築物の高さを15メートル以下で計画するよう申し入れた。本年4月に譲渡された敷地の一部は6月に開発申請が提出され、申し入れ内容が計画に反映されていることを確認している。

アレルギー事故

防止システム導入を

(公明党) 大原 智

問 アレルギー事故防止システムを導入すべきと考えるが、どうか。

答 献立チェックは、保護者や教職員の作業負担が大きいことから、作業負担の軽減を図り、迅速かつ正確な情報提供を行い、ヒューマンエラーによる事故を防止するためには、システムの導入が不可欠であり、早期導入を目指し、協議検討する。

バスの一般利用者に

乗り継ぎ割引を

(公明党) 大原 智

問 バス利用に関して、一般利用者も、乗り継ぎ割引を受けることが出来るようにすべきと思うがどうか。

答 ICカード定期券利用者の割引を一般利用者に拡充するには、事業者は車両への機器設置や運用システムの改修が必要となるが、サービス向上や利用促進の効果が期待できるため、さらなる制度拡充を要望する。



徘徊高齢者に対する

具体的な取り組みは

(政新会) やの 正史

問 市内の、認知症が原因による、徘徊高齢者の行方不明者への取り組み結果はどうか。

答 西宮・甲子園警察署が事務局となり、西宮はいかい者等SOSネットワーク協議会が設置され、市や民生委員・児童委員会も連携している。25年度は

19件の事案すべてで保護され、民生委員が事後に訪問して介護サービスなどの情報提供をし、再発防止に取り組んだ。

プール開放事業

市から監視員設置を

(政新会) やの 正史

問 スポーツクラブ21の、プール開放事業に対して、市より監視員を設置できないか。

答 基本的には来年度以降も無償ボランティアでお願いしたいと考えているが、有資格者を確保できる事業者に委託するなど少しでも地域の負担軽減につなげ、全地区でのプール開放事業実施を目標に取り組む。

補助金の定期的な

見直し制度導入を

(蒼士会) 木村嘉三郎

問 市は多くの団体に年間73億円の補助金を交付している。補助金の半数は20年以上交付されており、既得権化されている。補助金は市民やその時代に合ったもの、また、公益性、有効性、公平性が担保されていないなければならない。そのためには補助金の定期的な見直しを行っていかなくてはならないが、十分な見直しは行われていない。

サンセット方式のような定期的な見直し制度の導入についての市の考えを聞きたい。

答 補助金制度に関する指針では、誘導・促進型補助と市民参加型補助は、終期到来により原則廃止するサンセット方式を採用し、団体運営補助、施策推進型補助、その他は定期見直し方式とした。補助金を前提に団体を設立したり運営している場合は、補助金支出の正当性を検証し基本的な方向性としては、サンセット方式の導入を進める。

生活道路整備基準の

作成を

(市民ク改革) 和田とよじ

問 道路整備の優先順位は、都市計画道路から生活道路へと変更すべきである。市では、新たな「生活道路整備基準」の作成に、取り組むべきでは。

答 生活道路の整備は、法的な位置づけがなく多くの課題があるが、先進事例の研究を始めており、新たな制度設計により、実現性や効果を検討する。

災害用バンダナ

取り組みへ支援を

(市民ク改革) 和田とよじ

問 災害への情報保障の観点

から、関東方面で熱心な、西宮市聴力言語障害者協会のあぶ会の、「災害用バンダナ」への取り組みへの支援を、市では考えるべきではないか。

答 適切な情報の保障につながる効果が期待できる非常に有用な用具であるが、広く市民に周知されなければ十分な効果は得られないため、普及啓発に向けた側面的な支援を検討する。



災害用バンダナ

個人情報保護の徹底

不正アクセス防止を

(無所属) よつや 薫

問 市の保有する個人情報に職員が業務上の目的外の目的でアクセスした場合、西宮市個人情報保護条例その他の法令に違反しないか。

答 民法上の不法行為責任を問われ、地方公務員法の信用失墜行為に当たる可能性がある。また、住民基本台帳法、地方税

法でも秘密漏えいの罰則がある。小中学生に認知症の学びの場を

(公明党) 松山かつのり

問 認知症患者が住み慣れた地域や住まいで生活する際、家族を始め周辺の方の理解が必要。「住民力」を高めるためにも、小中学生から認知症への学びの場が必要だと考えるがどうか。

答 福祉学習実践ガイドブックを授業の一環で取り組めるよう小中学校に配布し、特別養護老人ホームにトライやる・ウィークで参加した生徒にも認知症サポーター養成講座を実施した。



地域連携ノート

導入の進捗は

(公明党) 松山かつのり

問 西宮版認知症ケアパスとして「地域連携ノート」の取り組みを進めているが、その後の状況、導入にあたっての課題は。

答 メディカルケアネット西宮で準備を進めており、試作品も完成している。医療介護関係者に活用方法を十分理解しても

らうため勉強会や研修会を行い、モデル実施も行う予定である。保育料値下げ

保育料値下げ

具体的な内容は

(蒼士会) 澁谷 祐介

問 市長交代に伴い、市は私の主張を受け入れ、来年度から保育所保育料を値下げする意向を明らかにした。来年度以降、どの所得階層を中心に、どの程度、値下げする考えか。

答 階層によっては国徴収基準との差がありすぎる点に不公平感があり、特に所得の高い階層を引き下げるべきと考える。他都市と大きな乖離が生じない水準を目指し是正に取り組む。

OBの退職金別金

不適切な支出では

(蒼士会) 澁谷 祐介

問 西宮防犯協会に再就職した市職員OBが多額の退職金別金を受け取っている。これは慣例に反する、不適切な行為だと考えるが市の見解はどうか。

答 慣例では受け取らないこととしており、他に例はなく大変遺憾である。総会の承認を得て支出され、財源は市の補助金ではないが、嚴重に申し入れる。(一般質問は6、7面にも掲載)

一般質問(続き)

市内の全小学生に

本物の音楽を

(無所属) 谷本 豊

問 小学校4年生ぐらいの時に学校の授業として西宮市の全ての小学生に生演奏など本物の音楽に触れる機会を提供してほしいと願うが実現は。

答 限られた教育課程の時間内では実施が難しい面もあるが、今後、放課後の子ども居場所づくりに向けた取り組みなどともあわせ、関係部局と協議する。

阪急武庫川駅の

設置について

(公明党) 大川原成彦

問 地元の強い要望を受けて調査が進められてきたが、今後の取り組みはどうか。

答 新駅構想の具体化のためには、駅舎だけでなく駅周辺整備を併せて検討する必要があるため、地域住民の合意形成や協力が不可欠。具体的なプランでシミュレーションし、地域住民の意向も確認し取り組む。

文化施設について

(公明党) 大川原成彦

問 来年3月に北口ギャラリー

「大人の塗り絵」コンテンツ展覧会が民間の主催で開催されることになった。今後の文化施設について市長の見解は。

答 文化事業の目的を総点検し、実効性のある文化施設を再構築したいと考えており、民間事業者やNPOなど広範な主体の柔軟な発想、人材などの活力を取り入れ、全国に発信できる西宮らしい事業展開を図る。



介護保険制度

不正請求への対策は

(無所属) 岸 利之

問 これからの少子高齢化を考えると、介護保険制度を維持していくためには、介護保険業者に不正請求をさせないことが大切であると考えているが、不正請求を行わないための市の対策は。

答 全事業者を対象に法令遵守や適正な介護報酬請求の集団指導を行い、各事業者の実地指導でも各書類をきめ細かく点検している。また、不正が疑われる情報があった場合は速やかに

立入調査を実施している。

人件費削減

市長自ら給与削減を

(無所属) 岸 利之

問 職員の給与を削減するからには市長自ら給与を削減すべきと考えるが、ご自身の給与削減に対する市長の考えは。

答 組織のトップとして姿勢を示すためにも、自らの給与を削減すべきであり、できるだけ早い時期に市長などの特別職の給与減額について条例提案する。



UR借り上げ住宅

新方針の具体化は

(日本共産党) まつお正秀

問 UR借り上げ市営住宅について、西宮借り上げ住宅連絡会から市長選挙候補者に対して出された公開質問書に対し、市長は新たな方針を考えると回答している。いつ別の方針を具体化するのか。

答 市が支払った賃料を控除した残存価格での買い取りを考えたが、URの提示は市営住宅の新設に近い価格であり到底市

民の理解が得られないと判断し、返還する方針を決断した。

西宮における

今後の農政の課題は

(日本共産党) まつお正秀

問 西宮における今後の農政の課題について、市はどのような課題について、市はどのように考えているか。

答 高齢化と後継者不足により、耕作されない農地の増加や南部地域では農地の多面的な機能が失われる傾向にあり、担い手確保や農地の保全に取り組む必要がある。

まちづくりの担い手

育成の進め方は

(むの会) 長谷川久美子

問 市は甲南大学西宮キャンパスで西宮まちづくり塾を開催した。まちづくりの担い手育成目的の事業の今後の進め方は。

答 地域の現状把握や特定課題などを学習する地区別のまちづくり塾の開催、まちづくりのリーダーやコーディネーターなどの育成プログラムを検討する。

性同一性障害に悩む

児童生徒への理解を

(むの会) 長谷川久美子

問 文科省は全国の小中高校に性同一性障害とみられる児童

生徒が少なくとも606人在席と発表。学校での多様な性LGBT(レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー)への理解を深める取組は。

答 教師向け指導資料の作成を進めており、26年度中に教員へ配布し、さまざまな研修会で活用が進むよう周知を図る。また、人権・同和教育研究会でパネル展示も予定している。



男女混合名簿

について

(政新会) 篠原 正寛

問 性差の意識を助長すると言う理由で中学校以外では男女混合名簿が採用されているが、教育委員会として「男らしさ、女らしさ」はなくすべき、残すべきものどちらと考えるのか。

答 「らしさ」を互いの良さと考えるのであれば大切にすべきことだと考えるが、違和感を

覚える子どももいるため、状況に応じた配慮が必要である。

全国学力テスト

指導への反映は

(政新会) 篠原 正寛

問 全国学力テストの結果について、単純な順位公表より結果をすぐ学習指導に反映させることが大切だが、これらについて今後の方針や具体策を示せ。

答 各学校での分析により明確になった課題を校内で共通理解した上で取り組みを進めており、保護者や地域に加え教育連携協議会などにも報告し、家庭や地域と連携し取り組んでいる。

請願

【採択】

○公立小・中学校のトイレの洋式化を求める請願

【みなし採択】※

○新聞への軽減税率適用についての請願

○35人以下学級の着実な推進と義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充に関する請願

※「みなし採択」とは、同じ趣旨の意見書案が可決されたため、「採択」とみなされたものです。

委員会委員名簿

◎=委員長
○=副委員長
(平成26年7月4日現在)

議会運営委員会 (10人)
議会運営に関する事項など
◎大石 伸雄 ○山口 英治
河崎はじめ 川村よしと
佐藤みち子 篠原 正寛
澁谷 祐介 中尾 孝夫
西田いさお 山田ますと

広報委員会 (6人)
議会の広報に関する事項など
◎大原 智 ○田中 良平
木村嘉三郎 野口あけみ
長谷川久美子 やの 正史

総務 (10人)
所管：防災危機管理局、政策局、総務局など
◎まつお正秀 ○花岡ゆたか
上田さち子 大石 伸雄
岸 利之 篠原 正寛
澁谷 祐介 嶋田 克興
山口 英治 山田ますと

厚生 (9人)
所管：健康福祉局、こども支援局、産業環境局など
◎竹尾ともえ ○川村よしと
大原 智 かみたに幸彦
河崎はじめ 木村嘉三郎
野口あけみ 長谷川久美子
やの 正史

市民文教 (10人)
所管：市民文化局、教育委員会
◎坂上 明 ○松山かつのり
上向井賢二 佐藤みち子
中尾 孝夫 中川 経夫
西田いさお 町田 博喜
八木米太郎 よつや 薫

建設 (10人)
所管：都市局、土木局、上下水道局
◎和田とよじ ○杉山たかのり
大川原成彦 草加 智清
ざこ 宏一 白井 啓一
田中 正剛 田中 良平
谷本 豊 吉岡 政和

議会改革 (7人)
議会改革に関する事項
◎篠原 正寛 ○河崎はじめ
大石 伸雄 西田いさお
野口あけみ 八木米太郎
山田ますと

アサヒビール工場跡地問題(10人)
アサヒビール工場跡地問題に関する事項
◎大石 伸雄 ○山田ますと
上田さち子 河崎はじめ
川村よしと 篠原 正寛
澁谷 祐介 嶋田 克興
中尾 孝夫 山口 英治

その他の議会役職

☆監査委員

☆阪神水道企業団議会議員

☆農業委員

- ざこ 宏一
八木 米太郎
白井 啓一
上向井 賢二
佐藤 みち子

特別委員会の設置

アサヒビール工場跡地問題について、調査・審査を行う「アサヒビール工場跡地問題特別委員会」を平成26年7月4日(金)に設置しました。

Table with columns for dates (7月, 6月) and meeting content (本会議 一般質問, 質疑、委員会付託, etc.)

6月定例会
主な審議日程

平成26年6月定例会

議案等審議結果一覧表 会派別

(○賛成、×反対)

	採決結果	会派名(一部略称)					
		政新会	公明党	市民フ改革	蒼士会	日本共産党	むの会
市長提出議案	条例	○	○	○	○	○	○
	予算	○	○	○	○	○	○
	一般案件	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	人事	○	○	○	○	○	○
	意見書	×	×	×	○	×	退場
	決議	○	○	○	○	×	○
その他	○	○	○	○	○	○	

採決結果の○は、提出された議案などに対して全会一致または賛成多数で可決したことを示しています。なお、人事案件の場合は、同意または可決したことを示しています。
 ※議案等に対する各議員の採決態度については、市議会ホームページでご覧になれます。

9月定例会
開催日程(予定)

8月	29日(金)	本会議 提案説明など
	4日(木)、5日(金)、8日(月)	本会議 一般質問
9月	9日(火)	本会議 一般質問、質疑など
	11日(木)、12日(金)	常任委員会
	16日(火)	アサヒビール工場跡地問題 特別委員会
	17日(水)	本会議 採決など 決算特別委員会(全体会)
	24日(水)~26日(金)	決算特別委員会(分科会)
	29日(月)	決算特別委員会(全体会) 本会議 採決など
	30日(火)	予備日

●開催予定時刻は10時です。
 なお、日程は変更になる場合もあります。
 ◆問い合わせ先◆
 議会事務局 議事調査課
 ☎(0798)35-3380

「市議会だより」の1面の写真を募集します

- ◆テーマ 西宮市内の魅力を紹介できる写真
- ◆規格 カラープリントL版(横)
- ◆応募方法 作品に**写真のタイトル、住所、氏名、電話番号、撮影場所、撮影日**を明記したものを添え、郵送または持参してください。
- ◆選考 広報委員会で行います。
- ◆注意事項
 - ※作品は未発表・オリジナル作品に限ります。人物が明らかに特定できる場合は、ご本人の了承を得てください。掲載の都合上、トリミングをする場合があります。
 - ※採用の発表は紙面にて行います。また、タイトル、氏名、住所(町名)を掲載します。
 - ※応募作品は返却いたしませんのでご了承ください。
- ◆その他 採用者には粗品を進呈いたします。
- ◆応募先 〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号
 議会事務局 議事調査課
 ☎(0798)35-3377

募集期間 平成26年9月30日(火)まで

兵庫県功労者表彰

地方自治の振興発展に貢献し、その功績が優れていることから、次の議員が表彰されました。
 自治功勞

草加智清

永年勤続表彰

全国市議会議長会
 議員35年以上在職
 嶋田克興
 議員10年以上在職
 上向井賢二
 河崎はじめ
 木村嘉三郎
 佐藤みち子
 田中正剛
 西田いさお

9月定例会で審査する請願・陳情の締め切り(予定)は、9月4日(木)午後5時までです。

問い合わせ先：議会事務局 議事調査課 (0798) 35-3380